

人間総合科学研究科スポーツウエルネス学位プログラム

基礎専門科目必修(スポーツウエルネス学位プログラム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02JL001	課題解決型データ分析論特講1	1	1.0	1	春BC	集中	5F558講義室	岡田 幸彦	社会科学のデータ分析手法や研究デザインを学ぶ。特に、受講生の研究課題、問題意識、保有データに対して適切な分析手法について、深い理解を得られるように、対話形式で授業を進める。社会科学の実証分析手法は多様である。これらを適切に使いこなせるように、授業では典型的な実証研究論文を取り上げる予定である。	受講はスポーツウエルネス学位プログラムの学生に限る 6/29, 7/13
02JL002	課題解決型データ分析論特講2	1	1.0	1	秋AB	集中	5F558講義室	岡田 幸彦	世の中には、多様な社会データが存在している。これからの時代に利用可能な各種データに対する最先端の解析技術・方法論を事例紹介するとともに、それらのスポーツウエルネス領域への応用可能性を議論する。なお、授業では、筑波大学サービス工学ビッグデータCoEの成果を取り上げることを中心に進める予定である。	受講はスポーツウエルネス学位プログラムの学生に限る 10/26, 11/9 (11/9:555ゼミ室)

専門科目必修(スポーツウエルネス学位プログラム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02JL101	スポーツウエルネス研究演習I	2	1.0	1	通年	随時		尾縣 貢 菊 幸一 久野 譜也 水上 勝義 山口 香 柴田 愛 高橋 義雄	スポーツウエルネス領域に関する研究及び課題解決型プロジェクトワークについて指導教員を中核としてメンタ教員を含めての指導のもとに研究計画を立案し、研究テーマの設定を行う。中間報告会Iに終日参加すること、および、研究テーマおよび研究計画を発表する。	受講はスポーツウエルネス学位プログラムの学生に限る
02JL102	スポーツウエルネス研究演習II	2	1.0	2	通年	随時		尾縣 貢 菊 幸一 久野 譜也 水上 勝義 山口 香 柴田 愛 高橋 義雄	スポーツウエルネス領域に関する研究に、設定した各自の研究テーマに基づき、担当教員の指導のもとに、研究を実施し、資料・データの解析、プレゼンテーションの方法等について学ぶ。中間報告会IIに終日参加すること、および、研究進捗状況や構想、データ収集および分析状況について発表する。研究演習IIまたはIIIで国際学会での発表を1回以上行う。(海外での調査研究に代えることができる)。	受講はスポーツウエルネス学位プログラムの学生に限る
02JL103	スポーツウエルネス研究演習III	2	1.0	3	通年	随時		尾縣 貢 菊 幸一 久野 譜也 水上 勝義 山口 香 柴田 愛 高橋 義雄	スポーツウエルネス領域に関する研究に、設定した各自の研究テーマに基づき、担当教員の指導のもとに、研究成果をまとめる。研究演習IIIまたはIIIで国際学会での発表を1回以上行う。(海外での調査研究に代えることができる)。	受講はスポーツウエルネス学位プログラムの学生に限る
02JL104	課題解決型プロジェクトワーク	7	3.0	1・2	通年	随時		尾縣 貢 菊 幸一 久野 譜也 水上 勝義 山口 香 柴田 愛 高橋 義雄	スポーツウエルネス領域で学んだ知識や能力を実務に生かすための経験やトレーニングを行う。具体的には、スポーツウエルネス領域に関わる官庁、地方自治体、NPO、民間等の機関などの実際の受け入れ現場において、課題設定を行い、その解決のためのプロジェクトを実施する。この授業では、事前計画(実習テーマ設定、計画書の作成、発表)、フィールドワーク、事後報告(フィールドワーク報告書の作成、発表)の3段階で実施する。	受講はスポーツウエルネス学位プログラムの学生に限る 平成28年度入学者用
02JL105	課題解決型プロジェクトワークI	7	1.0	1	通年	随時		尾縣 貢 菊 幸一 久野 譜也 水上 勝義 山口 香 柴田 愛 高橋 義雄 足立 和隆	スポーツウエルネス領域で学んだ知識や能力を実務に生かすための経験やトレーニングを行う。具体的には、スポーツウエルネス領域に関わる官庁、地方自治体、NPO、民間等の機関などの実際の受け入れ現場において、課題設定を行い、その解決のためのプロジェクトを実施する。この授業では、事前計画(実習テーマ設定、計画書の作成、計画発表)を行う。	受講はスポーツウエルネス学位プログラムの学生に限る 平成29年度以降入学者用
02JL106	課題解決型プロジェクトワークII	7	2.0	2・3	通年	随時		尾縣 貢 菊 幸一 久野 譜也 水上 勝義 山口 香 柴田 愛 高橋 義雄 足立 和隆	スポーツウエルネス領域で学んだ知識や能力を実務に生かすための経験やトレーニングを行う。具体的には、スポーツウエルネス領域に関わる官庁、地方自治体、NPO、民間等の機関などの実際の受け入れ現場において、課題設定を行い、その解決のためのプロジェクトを実施する。この授業では、フィールドワーク、事後報告(フィールドワーク報告書の作成、発表)を行う。事後報告では、フィールドワーク実施内容、実施中に生じた問題点などに対する解決策を提示、新たな問題提起、大学院で学習した理論・議論の再構築等に関する考察及び発表を行う。	受講はスポーツウエルネス学位プログラムの学生に限る 平成29年度以降入学者用